

2025年 りんご病害虫防除暦



JA 中野市営農センター

【展着剤の選択】展着剤ハイテンパワーに替えてササラ 2,000 倍を使用しても良い。(薬液の広がり、散布後の乾きがよくなる。汚れ軽減)

散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100ℓ当り使用量)	使用時期	使用回数	散布量 ℓ/10a	対象病害虫	注意事項
/	第1回 3月中下旬 *発芽前	体系を選択 (水 88ℓ) スプレーオイル 2ℓ 石灰硫黄合剤 10ℓ (水 98ℓ) トップジン M 水和剤 100g スプレーオイル 2ℓ	発芽前	—	300	腐らん病 ハダニ類 カイガラムシ類	① 休眠期の防除は、石灰硫黄合剤体系かトップジンM水和剤体系のどちらかを選択する。 ② 【農家が在庫のみ】 トップジン M 水和剤に代えて、ペフラン液剤 25 の 1,000 倍 (休眠期、6 回 *但し、開花期以降 3 回以内) でもよい。
			休眠期	—			
/	第2回 4月上旬 *展葉後	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ユニックス顆粒水和剤 47 50 g	14 日前	4 回	300	黒星病、モリニア病 (うどんこ病)	① 【うどんこ病対策】 コロナフロアブルの 400 倍(-,-)を加用する。 ② 【農家が在庫のみ】 ユニックス顆粒水和剤 47 に代えて、ペフラン液剤 25 の 1,000 倍 (展葉期、6 回 *但し、開花期以降 3 回以内) でもよい
/	第3回 4月下旬 *開花期	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ロムダンフロアブル 33 mℓ ミギワ 20 フロアブル 25 mℓ	前日 前日	2 回 3 回	400	黒星病、うどんこ病 ケムシ類、ハマキムシ類、キリガ類 シャクトリムシ類	① 【代替】ロムダンフロアブルに代えてサムコルフロアブル 10 の 5,000 倍 (前日、3 回) でもよい。 ② 【アブラムシ類対策(第4回散布)】 ウララDFの 2,000 倍 (14 日前、2 回)を加用する。 ③ 【ふじ薬剤摘果】 満開 2 週間後、目通り中心果の横径が 8~10 mm の頃にミロデナボン水和剤 85 の 1,200 倍 (満開後 1~4 週間、2 回)を特別散布する。 *展着剤アプローチBIの 300 倍使用
/	第4回 5月上旬 *落花後	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ カナメフロアブル 25 mℓ	前日	3 回	400	黒星病、うどんこ病、赤星病 黒点病	① 【幼果カルシウム補給】 カルタス 1,000 倍を加用する。 目安: 第 5 回~7 回の 3 回連続散布 ② 【腐らん病 対策】 あら摘果終了直後の定期散布に、トップジンM水和剤の 1,500 倍(前日、6 回)を加用する。
/	第5回 5月中下旬 *前回から14日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ トランスフォームフロアブル 50 mℓ ジマンダイセン水和剤 200 g	前日 30 日前	3 回 3 回	400	黒星病、黒点病、褐斑病 アブラムシ類、カイガラムシ類 コアオカスミカメ、リンゴワタムシ	① 【幼果カルシウム補給】 カルタス 1,000 倍を加用する。 目安: 第 5 回~7 回の 3 回連続散布 ② 【腐らん病 対策】 あら摘果終了直後の定期散布に、トップジンM水和剤の 1,500 倍(前日、6 回)を加用する。
【黒星病、(カイガラムシ類)対策 特別散布】 5月末に、ジマンダイセン水和剤の 500 倍(30 日前、3 回)とダイアジノン水和剤 34 の 1,000 倍(30 日前、4 回)を特別散布する。							
/	第6回 6月上旬	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ダイアジノン水和剤 34 100 g アントラコール顆粒水和剤 200 g	30 日前 45 日前	4 回 4 回	500	黒星病、黒点病 斑点落葉病、褐斑病、炭疽病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ若齢幼虫 リンゴワタムシ、アブラムシ	① 【キンモンホソガ、カメムシ対策】 キラップフロアブルの 2,000 倍 (14 日前、2 回)を加用する。 ② 【炭疽病、輪紋病、褐斑病等 重点防除期間】 (6月~8月) 散布ムラが無いように、樹全体に万遍なく散布する。
/	第7回 6月中下旬 *前回から14日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ オンリーワンフロアブル 50 mℓ モスピラン顆粒水溶剤 50 g オキシラン水和剤 200 g	7 日前 前日 14 日前	3 回 3 回 4 回	600	輪紋病、炭疽病、褐斑病 うどんこ病、斑点落葉病、黒星病、 シンクイムシ類、カメムシ類 キンモンホソガ、ケムシ類 ハマキムシ類、リンゴワタムシ カイガラムシ類、アブラムシ類	① 【農家が在庫のみ】モスピラン顆粒水溶剤に代えて、サイアノックス水和剤の 1,000 倍 (14 日前、1 回)でもよい。 ② 【農家が在庫のみ】オキシラン水和剤に代えて、ラビライト水和剤の 500 倍 (30 日前、1 回)でもよい。 ③ 【炭疽病対策 強化】オキシラン水和剤に代えて、キノドー顆粒水和剤の 1,000 倍 (14 日前、4 回)とオーソサイド水和剤 80 の 800 倍 (前日、6 回)を加用する。
/	第8回 7月上旬 *前回から14日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ バイスロイドEW 50 mℓ フリントフロアブル 25 50 mℓ ユニックス顆粒水和剤 47 50 g	7 日前 前日 14 日前	4 回 4 回 4 回	600	輪紋病、炭疽病、褐斑病 腐らん病、斑点落葉病、黒星病 シンクイムシ類、キンモンホソガ、カメムシ類、 ハマキムシ類、ギンモンハモグリガ	① 【輪紋病対策】 IC ボルドー412 の 30 倍を 7 月初旬に特別散布する。ただし、早生種には散布しない。(汚れ) ② 【ハダニ類対策】 コロマイト乳剤の 1,000 倍 (前日、1 回)を加用する。
【炭疽病 対策 特別散布】 オーソサイド水和剤 80 の 800 倍(前日、6 回)を特別散布する。尚、散布間隔は前回から 7~10 日後とする。							
/	第9回 7月中下旬 *前回から14日以内	展着剤(スカッシュ) 100 mℓ キノドー顆粒水和剤 100 g エコマイト顆粒水和剤 50 g オーソサイド水和剤 80 125 g オリオン水和剤 40 100 g	14 日前 前日 前日 前日	4 回 1 回 6 回 2 回	600	輪紋病、炭疽病 斑点落葉病、褐斑病 ハダニ類、シンクイムシ類、 ハマキムシ類、カイガラムシ類 キンモンホソガ	① 【代替】 キノドー顆粒水和剤に代えて、ベルコートフロアブルの 1,500 倍 (前日、3 回)でもよい。 ② 【カメムシ類 発生圏】 キラップフロアブルの 2,000 倍 (14 日前、2 回)を特別散布する。
/	第10回 8月上旬 *前回から14日以内	展着剤(スカッシュ) 100 mℓ マイトコーネフロアブル 100 mℓ エクシレルSE 20 mℓ ダイパワー水和剤 100 g	前日 前日 前日	1 回 3 回 3 回	600	輪紋病、炭疽病、黒星病 褐斑病、斑点落葉病 シンクイムシ類、キンモンホソガ ナミハダニ、リンゴハダニ、ケムシ類 コガネムシ類、ハマキムシ類	① 【シンクイムシ対策】 エクシレル SE に代えて、アーデントフロアブルの 2,000 倍 (前日、3 回)を使用する。 ② 【カイガラムシ類 対策】 トランスフォームフロアブルの 2,000 倍 (前日、3 回)を加用する。
/	第11回 8月中下旬 *前回から14日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ナリア WDG 50 g バリアード顆粒水和剤 50 g オマイト水和剤 133 g	前日 前日 3 日前	3 回 3 回 1 回	600	輪紋病、炭疽病、斑点落葉病 腐らん病、褐斑病、すす点病、すす斑病 黒星病、カメムシ類、ハダニ類 シンクイムシ類、リンゴワタムシ (キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、 コナカイガラムシ類)	① 【ドリフト注意】 オマイト水和剤はナシ類に登録が無いので、飛散しないようにする。
/	第12回 9月上旬 *前回から14日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ イカズチWDG 66 g オーソサイド水和剤 80 125 g	前日 前日	2 回 6 回	500	輪紋病、炭疽病、斑点落葉病、 褐斑病、すす点病、すす斑病 黒星病、ハマキムシ類 シンクイムシ類、キンモンホソガ、 ギンモンハモグリガ、カメムシ類	① 【ハダニ類対策】 ダニオーテフロアブルの 2000 倍 (前日、1 回)を加用する。尚、散布の際は銅剤(キノドー)散布の 45 日後以降とする。 ② 【汚れ軽減】 通常展着剤に代えて、スカッシュの 2,000 倍またはササラの 2,000 倍を使用する。
/	第13回 9月中下旬 *前回から14日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ダントツ水溶剤 50 g アリエッティC水和剤 125 g	前日 前日	3 回 3 回	500	すす点病、すす斑病、褐斑病 斑点落葉病、黒星病、炭疽病、 輪紋病、シンクイムシ類、ケムシ類 カメムシ類、ギンモンハモグリガ、 コガネムシ類、コナカイガラムシ類	① ダントツ水溶剤に代えて、ディアナWDGの 10,000 倍 (前日、2 回)でもよい。
/	第14回 10月上旬 *前回から14日以内	展着剤(ハイテンパワー) 10 mℓ ストライド顆粒水和剤 66 g	前日	3 回	500	炭疽病 斑点落葉病、褐斑病、すす点病、 すす斑病、黒星病	① 【薬害注意】 ストライド顆粒水和剤は、高温時に散布すると薬害が生じる恐れがあるため、涼しい時間帯に散布する。 ② 【かぶれ注意】 ストライド顆粒水和剤による肌のかぶれが心配される場合は、ストライドに代えてクプロシールドの 1,000 倍 (-,-)を使用してもよい。

【10月 すず病対策 特別散布】 ベルクートフロアブルの 1,500 倍(前日、3 回)を特別散布する。尚、散布間隔は前回から 7~10 日後とする。

◆ 混用例：展着剤 ⇒ 液剤⇒ 乳剤⇒ 顆粒水溶剤⇒ 水溶剤⇒ フロアブル⇒ ドライフロアブル (DF) ⇒ 顆粒水和剤 (WDG) ⇒ 水和剤

【安心・安全な農産物生産のために使用基準を厳守しましょう】

当防除暦の複製・コピーを禁止します。